

令和 6（2024）年度 第 2 回みよし市図書館協議会 会議録

日時	令和 7（2025）年 3 月 1 4 日（金） 午後 1 時 3 0 分から午後 2 時 4 5 分まで
場所	みよし市図書館学習交流プラザ『サンライズ』2 階 多目的室
出席委員	峯野 幸子、平山 啓子、若杉 亮子、今瀬 良江、木村 三奈、 市野 幸代、廣川 幸平
事務局	生涯学習推進課長兼図書館長 二子石 勝、主任主査 秋田 浩貴 子ども読書活動推進員 古岸 裕美子、主査 松田 由佳子
傍聴人	なし
事務局	定刻になりましたので、ただ今から令和 6 年度第 2 回みよし市図書館協議会を開催いたします。 最初に、礼の交換を行いたいと思いますので、皆様ご起立をお願いします。 「一同、礼」 ありがとうございました。ご着席ください。 本日の「みよし市図書館協議会」の開催につきましては、みよし市立図書館の管理及び運営に関する規則第 1 9 条第 1 項により「委員の過半数が出席しなければ開くことができない」となっていますが、委員の皆さま全員にご出席いただいておりますので、成立しております。なお、本会議は「公開」とさせていただきますので、ご承知おきください。 本日のスケジュールですが、お手元の次第に沿って進めさせていただきます。 はじめに、二子石図書館長がご挨拶を申し上げます。
図書館長	みよし市中央図書館館長の二子石です。 いつも、みよし市の図書館業務に御理解、御協力いただきありがとうございます。 令和 6 年度の図書関係の業務を振り返りますと、読書感想文コンクールを本のポップ展に変更したことがあげられます。

	ポップは、児童や生徒が本を読み、印象に残った場面を絵や短い文書で表現したものです。 市内小中学校に募集をしたところ、３８４点もの作品が集まり、その全てを中央図書館で１０月中旬から１７日間展示させていただきました。 お子さんのポップを親子で見に来たり、ポップを見てその本を借りる方もいて好評でした。 学校側の意見も、国語の授業に関連付けて作品を作ったり、学校図書館でも提示したりしてポップが活用できたと好評でしたので、７年度もポップ展を開催してまいります。 同じく、７年度の新規事業として、「タブレットによる電子書籍の活用」などの事業を会議でご説明させていただきます。 図書館サービスの充実に向け、皆さんからの御意見や御提案をお願いさせていただきます、あいさつとさせていただきます。
事務局	ありがとうございました。 次に、峯野会長よりご挨拶をいただきたいと思います。
峯野会長	皆様、こんにちは。会長の峯野でございます。本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。 年２回しかない協議会ですが、内容をしっかり皆さんで考え、より良い図書館を目指せたらと思いますので、よろしくお願いいたします。
事務局	ありがとうございました。私は、生涯学習推進課の松田と申します。本日の図書館協議会の司会を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 それでは、議題に移らせていただきます。事前に送付させていただいた資料をご覧ください。 本日の議事進行につきましては、みよし市立図書館の管理及び運営に関する規則第１８条第２項の規定により、会長がその会議の議長となることになっておりますので、峯野会長、よろしくお願いいたします。
峯野会長	それでは引き続き、次第に従いまして議事を進めてまいりたいと思いますので、委員の皆様方のご協力をお願いします。 まず、議題１令和７年度図書館事業計画（案）について、事務局よ

事務局	り説明願います。 議案 1 令和 7 年度図書館事業計画（案）についてご説明いたします。 まず、基本方針について。 みよし市立中央図書館では、知る自由をもつ市民が、さまざまなことを学び教養を深めるため、だれもが利用しサービスを受けることができる身近な公共施設として、幅広い図書資料の収集を行っています。また、インターネット蔵書検索や新聞記事データベース、電子図書館などを活用することで利便性の向上に努め、市民のくらしに役立つ図書館サービスを提供しています。さらに、愛知県図書館をはじめとした公立図書館との相互の連携と協働、ネットワークの形成を進め、資料提供に努めています。 読書啓発活動として、文学を身近に感じることで読書をするきっかけになるよう、読書講演会などを開催します。また、「みよし市子ども読書活動推進計画」に基づき、授業で役立つ本や読書用の本を学校に貸し出し、図書館支援団体と協働で「おはなし会」、「手作り絵本展」を開催します。図書館や学校などで読み聞かせ活動をするボランティアへの支援も継続して行っています。 図書館サービスのさらなる充実に向けて幅広く資料を収集し、多様化する利用者の要望に応えることができるように努めています。 次に、令和 7 年度主要事業について （１）図書館協議会運営事業 図書館サービスについての協議を行う図書館協議会を年 2 回開催します。また令和 7 年度は先進図書館視察研修を実施する予定です。視察先は未定、これから検討していきます。もし、このようなことに特化した図書館に視察研修に行きたいなどの意見があれば、後ほどお聞かせいただけると幸いです。 （２）図書館窓口等管理運営業務 図書館窓口等管理運営業務を委託することにより、効率的かつ効果的な運営を行い質の高い図書館サービスを提供します。令和 5 年度にプロポーザルによる事業者の選定を実施し、令和 6 年度から令和 10 年度までの 5 年間は、株式会社図書館流通センターへ委託します。 （３）市民情報サービスセンター図書コーナー整備事業 平成 31 年 4 月から図書コーナーの運営を継続して株式会社図書館
-----	---

	流通センターに委託し、中央図書館との連携を行っています。独自の企画展を開催し、また、中央図書館との間で本の配送を市民情報サービスセンター開所日は毎日実施します。 (4) 図書館資料の充実 利用頻度の高い「生活に関する一般図書」の拡充を図ります。また、図書館資料へのＩＣタグ整備を継続して実施するとともに、雑誌スポンサー制度による雑誌の充実に努めます。また、愛知県図書館が主導する相互貸借やラストワン・プロジェクトなどの事業へも引き続き参加します。 (5) 読書活動の推進 小さいお子さんを対象にしたおはなし会、中学生以下を対象にした読書ノートの配布、一日司書体験や読書講演会などを開催します。また、ボランティア養成教室の開催など、図書館支援団体の活動の促進を行います。こちらについては、後ほど、詳細をご説明します。 (6) 電子情報サービスの推進 図書館システムの適正な維持管理を行うとともに、図書館ホームページの充実を図り、インターネット予約や予約確認メール配信サービスを引き続き実施します。また、多様な生活様式の中でも図書館サービスを利用しやすく、文字を読むことが難しい人でも読書ができる電子図書館サービスを令和７年度も継続し、内容の充実を図ります。後ほど、改めて詳しくご説明しますが、令和７年度からみよし電子図書館を市内小中学校で全児童生徒に貸与している学習用タブレットから利用できるようにしていきます。 (7) 市内小中学校との連携 読書啓発活動の実施、職場体験学習やインターンシップの受け入れ、図書資料の小中学校への団体貸出、配本サービス、学校図書館ボランティアへの支援などを行います。また、令和６年度から読書感想文コンクールに代わる新事業として、小中学校を対象にした本のポップ展を実施しました。こちらは大変好評を得て、作品の応募総数は３８４点と多くの素晴らしい作品が集まりました。子ども達が本を読む、紹介する、そしてその作品を見るために図書館に足を運んでくれると、多くの効果がありましたので、令和７年度も引き続き実施します。 また資料にはありませんが、令和７年度は７月２６日（土）にサンライズまつりを開催する予定です。図書館としてもいかに図書館に親しみを持ってもらい、図書館に足を運ぶきっかけ作りができるような
--	---

	イベントを思案中です。 また先日、音楽室に暗幕を設置しました。今後、音楽室での映画上映会が可能になるので、図書館で所蔵している映画の上映会、合わせて関連作品の紹介を行い、図書館に足を運ぶきっかけ作りを行います。 最後に令和7年度予算案についてご説明いたします。 令和7年度予算に関しては、今年度と同程度の予算が確保できそうです。しかし、予算に関しては年々厳しくなっているのが現状ですので、限られた予算の中で、いかに良い図書館づくりを行えるかを考えて、予算執行にあたっていきたいと思います。 以上で議題1の説明を終わります。
峯野会長	只今の説明について、何かご意見、ご質問はございますか。
今瀬委員	ポップ展を行い好評だったとのことですが、展示を見逃してしまったので、もっと図書館協議会や社会教育委員に周知してもらえないのでしょうか。
事務局	みよし市公式LINEに加え小中学生と保護者にはきずなネットで展示期間はお知らせしていました。
今瀬委員	委員さん達が知らないということが残念なので、こういった生涯学習推進課主催のイベント等あれば、郵便じゃなくてもメール等で委員さん個別に連絡を入れてみてはどうでしょうか。
事務局	委員さん達にどのようにお知らせするのが良いか検討いたします。
峯野会長	他にどうでしょうか。
平山副会長	ポップ展が好評だったということは分かりましたが、読書感想文コンクールのかわりということでしたが、文を書くのが得意な子を対象とする読書感想文コンクールに対して、ポップ展は絵が得意な子を対象としていると思うので、両方行うことはできないのでしょうか。
事務局	読書感想文コンクールはみよし市として行わなくなっただけで、県

	主催のものは継続して行っておりますので、学校を通じて提出していただくことは可能です。ただ申し訳ないですが応募数がどれくらいあったのかは、こちらでは把握していません。これまで市の読書感想文コンクールは作品選考が学校の先生の負担となっていました。今年度から始まったポップ展は応募作品を全て展示するので、先生方の手間もなく、また応募する児童生徒も、選考がない分、応募へのハードルが下がりました。絵がうまい子もいれば、本当に秀逸な大人顔負けのキャッチコピーを考えてくれた子もいます。この本読んでみたい！と思わせる作品がたくさん集まったので、良かったと思います。ただ、県の読書感想文コンクールも行われているので、来年度は読書感想文のPRも図書館としてもう少し行えればと思います。
平山副会長	読書感想文コンクールは市で行っていたときは文集になっていましたよね。それは文を書くのが得意な子にとって励みになっていたと思います。県のコンクールになるとかなりハードルが上がるが、市主催のものなら、各学校各学年が1名ずつ掲載されていたので、励みになっていたのではと思います。
今瀬委員	読書感想文を各校で読んで選考するのが先生達の手間ならば、図書館にいきなり持って来てもらうのはどうですか。
事務局	図書館で選考となると人手が足りないですし、そもそも感想文の選考をするとするとやはり国語の先生の力がないと難しいです。
今瀬委員	どこかに選考を委託するのはどうですか。身近に書く機会があるのは必要なことではないでしょうか。
事務局	読書感想文コンクールとポップ展、両方を市で主催するのは現実的に難しいです。県の読書感想文コンクールはあるのですから、そちらに応募してもらえればと思います。
峯野会長	ポップ展の作品展示中の様子の写真などはホームページで紹介されていますか。
事務局	以前は掲載してありました。ただ作品の様子だけで、見に来ている人が写っている写真はないです。今年度、初の試みだったため、どの

	くらい作品が集まるのか分からず図書館内に作品を展示したのですが、想像を上回る応募があり、展示スペースを図書館内で小学生・中学生で分ける策を取ったので、来年度は予めサンライズ1階ギャラリーを押えてありますので、そちらで展示する予定です。館内ではおしゃべりはあまりできないですが、ギャラリーなら作品を見ながら話すことができるので、今年よりより多くの方に来ていただけたと思います。
今瀬委員	ギャラリーで展示できない分は通路にパネル展示してみてもどうですか。
事務局	ギャラリーならよほど全て展示できると思います。
今瀬委員	イオンに展示もいいのではないですか。
事務局	せっかく展示するなら、図書館に来るきっかけ作りにしたいです。今年度、図書館内に展示した際、展示作品の近くにポップで多く紹介されていた本を置いたところ、ほとんどの本が借りられていきました。皆さん、ポップを見て、読んでみようと思ってくださったようです。これはサンライズ内に展示しないとできないことから、来年度も展示はサンライズで行おうと思います。
若杉委員	あの展示は児童コーナーと階段下のところでしたよね。図書館に行くきっかけになって良かったと思います。
事務局	当初の予定では階段下だけで展示を行う予定だったのですが、予想以上の応募があったため、小学生分を児童コーナーに展示しました。
若杉委員	応募が増えるとうれしい悲鳴ですね。
峯野会長	作品展示期間はホームページに載っていましたか。
事務局	はい、載せていました。他にもみよし市公式LINEで情報発信しました。おかげで多くの方が来館してくださいました。 また、展示中にひまわりネットワークの取材も来ていましたので、その様子はホームページで見ただけです。

若杉委員	LINEは多くの情報が来て見落とすことが多いので、先ほど今瀬先生がおっしゃったように委員に直接連絡いただけるとありがたいのでよろしくお願いします。
事務局	対処します。
峯野会長	予算案について、概算でいいから教えてほしいです。
事務局	現時点では確定しておりませんので、ご承知おきください。 図書逐次刊行物等整備事業、2400万円ほど。 図書館奉仕事業、図書の貸し出しに関する経費が85万円ほど。 読書啓発事業、90万円ほど。 図書館電算事業、図書館システム等に係る経費、こちらは少し額が大きくて2200万円ほど。 図書館協議会運営事業、15万円ほど。 最後に市民情報サービスセンター図書コーナー整備事業、360万円ほど。 以上となっております。
峯野会長	ありがとうございました。
今瀬委員	あともう一つ、今年度、読書啓発事業がどれも非常に人気の講演会だったようで、前回の講演会も予約がすぐ埋まってしまって、私は選外でした。そういう講演会は非常に良いと思うので、予算も厳しいでしょうが、是非続けていただきたいです。
平山副会長	私も非常に良かったと思います。
今瀬委員	市外の方も多くいらしてますか。
事務局	市内の方が大半ですが、近隣市町の方もいらしてますし、遠いところだと静岡の人もしらっしゃいました。
今瀬委員	来年度の計画は決まっていますか。

事務局	これから計画します。
峯野会長	ありがとうございました。他によろしいですか。なければ議題 2 に移りたいと思います。 議題 2 その他について、事務局から説明をお願いします。
事務局	では、議題 2 の（１）読み聞かせボランティアの育成のための対策についてご説明いたします。別紙 1 をご覧ください。 みよし市立中央図書館では毎年、読み聞かせボランティアのための養成育成のための講座を開講しています。昨年度は中学校での読み聞かせのための講座を、今年度は小さい子のためのおはなし会を行っている方のための講座を開講いたしました。 令和 7 年度も引き続き、読み聞かせボランティアのための講座を開く予定です。近年、図書館で活動している読み聞かせボランティアグループの高齢化に伴い、今年度末で図書館でのおはなし会を退くグループがあります。また、各グループの会員も退会する人も増えている状況の中、実際活動できる人が同じ人に偏る傾向にあり、各グループの会員を増やす対策を求められています。 そこで、令和 7 年度の読み聞かせボランティア向けの講座は、メンバーを増やすことを意識し行いたいと思います。ただ、中央図書館で活動するボランティアだけに限定してしますと人が集まりにくいと思うので、小中学校で活動するボランティアまで範囲を広げ講座を行う予定です。その中で、図書館でのボランティアを勧誘する予定です。 資料の養成講座はあくまで例ですが、養成講座の回数が多いと参加しづらいとの意見もあるので、４回程度にとどめようかと思っています。ただ回数を少なくすると内容も少なくなってしまうので、連続は４回程度のとどめ、時期を空けて追加で行うなどのやり方をしていこうかと考えています。今後、講師の方と相談しながら時期や回数を決めていきたいと思っています。 私からの説明は以上です。
事務局	続きまして（２）学習用タブレットを活用してみよし電子図書館の利用についてご説明いたします。資料の別紙 2 をご覧ください。 まず、電子書籍とは、パソコンやタブレットを利用して読むことができる本のことです。みよし市では、令和 3 年 1 1 月から「みよし電子図書館」を運用しており、市内在住で図書館利用者カードを持って

	いる人であれば、誰でも利用できます。令和7年2月現在、みよし電子図書館には約2,000冊の電子書籍があり、インターネット環境下であれば、いつでも利用することができます。小中学生に貸与されている学習用タブレットで電子図書館を利用できるようにすることで、授業や自主学習、読書の時間に電子書籍を活用できます。 学校で電子図書館を利用するメリットは多くあります。 まず、調べもの学習の際、同じ図鑑や本を複数人が同時に利用することができます。学習用タブレットで必要な本を検索し、すぐに借りることができるので、多くの本を使って学習することができます。 また、読み聞かせの際、読まれている本を見ながら聞くことができ、理解を深めることができます。 映像付の電子書籍では、複数人が同時に視聴できます。 小学校低学年の児童など、本を読むことに慣れていなくても、読み上げ機能や映像付きの電子書籍であれば、本に親しむきっかけを作ることができます。 小学校高学年の児童や中学校の生徒には、人気のあるライトノベルや映像化された小説など、興味を持ちやすく読みやすい書籍をそろえることで、読書のきっかけを作ることができます。 いつでも借りて返すことができるため本の返却忘れがなく、破損・汚損の心配もありません。 学校で電子図書館を利用するにあたり、次のことを準備していきます。 まず、1冊の電子書籍に対して、複数人が同時にアクセスできる書籍（ライセンス形態が読み放題のもの）を豊富に用意します。 そして令和6年度中に小中1校ずつのモデル校を選定し、令和7年4月以降に児童・生徒一人ひとりにID・パスワードを付番します。授業などで試験的に利用してもらい、導入した感想を取りまとめ、課題等をクリアしてから校長会で報告します。その後、連携を希望する学校には、ID・パスワードを付番します。 モデル校の選定は先月すでに行っておりまして、モデル校を募集したところ、想定より多くの学校から応募があり、そして学校教育課の先生方から、できれば申し出のあった全校受け入れてほしいとの要望があったため、小学校が三吉、黒笹、南部、緑丘の4校、中学校が三好の1校、モデル校となりました。今後は4月以降に各校の担当の先生と打合せをして、ID、パスワードを付番し、順次開始していく予定です。
--	---

	その他の事項として、児童・生徒用の「電子図書館使い方マニュアル」を作成します。また先生からの電子図書館に関する相談・要望には、随時対応します。 そして電子図書館にログインするID・パスワードには、学習用タブレットのマイクロソフトアカウントと同じ番号を使用します。図書館に対して個人情報を開示する必要はありません。 テスト運用が始まるのが5月以降だと思いますので、来年度の第1回会議で報告できたらと思います。 以上で説明を終わります。
峯野会長	ありがとうございました。それでは、まずその他の(1)の説明に対して、何かご意見、ご質問はございませんか。
市野委員	こちらの講座は市内在住で興味のある方は誰でも応募できるのですか。
事務局	特に市内在住に限らず応募可能です。現にみよし市の図書館で読み聞かせボランティアを行っている方の中には長久手市在住の方もいらっしゃいます。なので、市内外問わず先着順でお受けしています。
市野委員	これは図書館で募集をかけているのですか。
事務局	図書館のおはなし会だけでなく小中学校の読み聞かせボランティアの方もいらっしゃいますので、特定せず募集します。ただ、図書館のボランティアを増やしたいという目標があるので、図書館でやりませんかとのお声がけはしていくつもりです。
市野委員	いつも募集はどのように行っていますか。
事務局	広報やホームページ、チラシを作って随時募集を行っています。
市野委員	子育て支援センターでも託児ボランティアを募集しているが少なく困っているのでは、どう集めているかお聞きしたかったです。
事務局	小中学校でも読み聞かせボランティアさんは人手不足で困っているようです。以前よりも働く女性が増えたことが要因のようです。です

	から今回、ボランティアさんを募るにあたって、子育てや仕事を離れた世代に声をかけていく予定です。
市野委員	どのように声をかけていくかが課題ですね。
事務局	はい、図書館も同じなので、講座は一つのきっかけになってくれればと思っています。やりたいと思っているけどなかなかきっかけがなくという方も多いと思うので、講座はいいきっかけ作りになるのではと思っています。
市野委員	ありがとうございました。
今瀬委員	私は時間がたくさんあるからやってみたいと思うけど、どうやってはじめればいいのか、誰に聞けばいいのか、講座を受けないといけないのかと考えているうちにハードルが高くなってしまい、なかなか始められないです。空いている時間で行けるときに気軽に行って子ども達と触れ合えたらと思っている人はたくさんいるのでは。いきいきクラブや憩いの家にもっと声をかけてみてはどうですか。
事務局	呼び込み方がまだまだかもしれないが、チラシやポスターを図書館内に設置したことで、問い合わせがちょくちょく来るなど手ごたえはあるので、今後はより広くPRしていきたいと思います。
今瀬委員	憩いの家に来ている人などは本当に元気がある方が多いので、PRすれば効果はあると思います。
事務局	ありがとうございます。参考にさせていただきます。
平山副会長	学校でもとのことでしたら、学校でも募集の声掛けはしているのでしょうか。
事務局	行っていません。
平山副会長	若いお母さんでもやりたい方はいると思うので、学校での声掛けも効果はあるのでは。

事務局	学校のボランティアグループさんに声掛けしてもらうことはできると思います。
今瀬委員	学校がボランティアさんに非協力的ということを知ったので、もう少し協力的になってくれればと思います。
事務局	学校のボランティアさんと学校の連携についてはこちらでは把握していないが、学校にも協力してもらえよう呼びかけは行っていこうと思います。
峯野会長	他に、何かご意見、ご質問はございませんか。なければ続きまして別紙２学習用タブレットを活用した電子図書館の利用について、こちらについて何かご意見、ご質問はございませんか。
木村委員	電子書籍、すごく便利で魅力的だと思います。ただ、幼稚園では親子で一緒に図書館に出向いて、一緒に本を選んで借りて、夜寝る前にその本を読み聞かせしてもらう取り組みを行っています。今後、電子書籍に力を入れていくと、図書館の方に予算等が削られていく可能性はありますか。本来は図書館に足を運んで本を手にとってもらうのが一番だと思うのですか、図書館の方が縮小していくようなことはないのですか。
事務局	予算に関しては、昨年度とほとんど変わりません。ですが、サンライズが開館して８年経ちますので、蔵書も随分いっぱいになってきており、購入ペースは今後少しゆっくりになるかとは思いますが、ただ、子どもの絵本や児童書は消耗が早いですし、生活に関する本は情報が新しくないという意味がないものも多いですので、こういった本は定期的買い替えを行っていきます。電子図書館に力を入れたからといって、本来の図書館をないがしろにするようなことはないです。 協議会の皆さんは紙の本を推奨される方がほとんどだと思います。私も元々はそうでした。ですが昨年、電子図書館サミットに参加する機会があり、そこで障害がある人の中には紙の書籍を読むことが困難な人がいるということ、読書バリアフリーを実現するのに電子書籍はとても有効であることを初めて知りました。紙の書籍もちろん大切ですが、せっかくタブレットがあり電子図書館が活用できるのだからと、今回の事業を始めるのであり、今後も図書館に来てもらうための

	啓発事業は引き続き行いますし、紙の書籍も大切にしていきますので、ご安心ください。
今瀬委員	財政が困難になるとまず削られるのが書籍代だと思います。実際、学校書籍の予算も削られている。図書館の本を学校で借りられるようにしてきたのも各学校で本を持たなくてもいいようにするためだったので、今回の電子図書館の活用はすごくいいと思います。是非、学校の要望を聞きながら進めていってほしいです。
事務局	今回はモデル校ということでスタートは全校ではないが、来年度、希望する学校は順次行っていきます。
今瀬委員	宣伝は学校教育課の方ですかね。
事務局	学校教育課にも協力はしてもらいますが、基本は生涯学習推進課で行います。
今瀬委員	非常に良い取り組みだと思いますが、これがあるから学校の図書費を減らすというようなことはしないでほしいですね。
事務局	今回、読み放題パックというコンテンツを入れることで、電子書籍を学校で使うにあたってのライセンス問題をクリアしているので、学校での活用をどんどん進めていくつもりです。
今瀬委員	他市町でもこういった取り組みを行っているのですか。
事務局	はい、行っている事例を聞きまして、うちでも是非と今回の事業を行うことにしました。近隣では東浦町が行っているので、実際に話を聞きに行くなどして、準備を行ってきました。
今瀬委員	本当に良い事業だと思うので頑張ってください。
若杉委員	資料の提供価格というのは何ですか。
事務局	1つのパックを1年間使うための価格です。もちろん一般の方向けの普通の電子書籍も購入していきます。今、モデル校に購入希望を聞

	いているところなので、来年度に向け購入書籍の検討を行っていきます。
若杉委員	図鑑のパックなんかはすごくいいですね。
事務局	図鑑は重たくて小さい子が持つのは大変なので、電子書籍で見られると非常に便利だと思います。
今瀬委員	電子黒板との接続はできますか。
事務局	できます。図鑑だと動画があるものもあるので、そういったものをモニターに映してみんなで見することもできます。
今瀬委員	デジタル教科書と同じような使い方ですか。
廣川委員	ちょっとデジタル教科書について詳しくはないのですが、同じような感じだと思います。
今瀬委員	先生たちも使い慣れていますかね。
廣川委員	副読本も電子になっているので大丈夫だと思います。
事務局	電子書籍なら、朝の読書時間にみんなで同じものを読んだり、図鑑の動画を一齐に視聴したり、調べもの学習にも有効活用できると思います。また障害があって紙書籍を読みづらい子も電子書籍なら使いやすい場合も多いですし、小学校低学年で、なかなか自分では本を読まない子も、読み上げ機能を使えば読んでくれる可能性もあります。もちろん紙の本を読んでほしいですが、電子書籍が本を読むきっかけになればと思っています。峯野会長が前回おっしゃっていたのですが、大学生は好きな本だけ電子書籍で読むとお聞きしたので、電子図書館を気軽に利用してもらえたらと思います。
峯野会長	私の世代だからかもしれませんが、図書館や本屋さんでいろんな本を見比べて迷うことも非常に有意義なことだと思うので、それにはやはり本棚が必要だと思う。今の学生はピンポイントで本を探して、類似の本を探すことを怠ることが多い。タブレットや電子書籍は便利だ

	が、紙書籍も大事にしてほしい。 もう一つ、教育現場での電子化が進みすぎて、大学の教育課程の方が追い付いてない気がする。ただ養護学校など、障害のある方に向けて読書バリアフリーは非常に有効だと思う。今回の取り組みは小中学校だけで高校は範囲外か。
事務局	みよし市内にある高校は県立高校のみなので対象とすることは難しいです。ただ市内在住者であれば電子図書館は使えるので活用してもらえたらと思います。
峯野会長	ありがとうございます。
若杉委員	学校教育とは別なのですが、高齢者の方でW e b サービスを利用するのがなかなか難しいと思います。電子図書館の中に本を読む以外に予約するなどの機能もありますよね。
事務局	電子図書館とW e b サービスは別物になります。W e b サービスはW e b O P A Cという図書館のシステムで利用します。
若杉委員	W e b サービスの使い方が高齢者には難しいので、そのW e b O P A Cに使い方を載せてもらおうと良いと思います。
事務局	W e b O P A Cはフォーマットが固定されているため、申し訳ないが編集ができないので、みよし市立中央図書館の方に載せるようにします。
若杉委員	使い方が分からないから、お孫さんに頼んだという方も良くいるので、分かりやすくしてもらえるとありがたい。
峯野会長	マイナンバーカードもそうだが、何でも電子でというやり方は高齢者には難しい。図書館には足が悪くて行けない、でも電子は使えないという方が増えるのが心配です。そういった方たちをどこまでサポートしていけるかが今後課題になると思います。
峯野会長	他によろしいですか。それでは、他にご意見、ご質問がなければ、これで議事を終了します。皆様のご協力によりスムーズに進行するこ

事務局	とができました。ありがとうございました。 事務局にお返しします。 会長、ありがとうございました。委員の皆様には、長時間にわたるご審議をいただき、ありがとうございました。 以上をもちまして、本日の図書館協議会を終了します。 最後に、礼の交換をしたいと存じますので、皆様ご起立をお願いします。 「一同、礼」 ありがとうございました。 (午後2時45分)
-----	--